

⑦〇由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策

受賞機関 国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所
京都府
福知山市

キーワード 由良川流域、総合的な内水対策、
「流域治水」の先駆け

全建賞審査委員会の評価ポイント

豪雨を受け、国、県、市が協働・連携して総合的な治水対策を実施した事業。ポンプ施設や河川改修のみでなく、下水道事業や調整池整備、既存農業用ため池の改修等を内容とした「流域治水プロジェクト」の先駆事例として他地域への参考となる点が評価された。

1. はじめに

福知山市は京都府の北西部に位置し、国道9号や舞鶴若狭自動車道、JR山陰本線、福知山線などが通る交通の要衝として発展してきた。

その一方で、市内を流れる由良川の増水により度々浸水被害を受けており、特に平成16年の台風23号及び平成25年の台風18号で浸水被害を受けた区間を緊急対策特定区間とし、計画を大幅に前倒して治水対策を進めている。

2. 事業の概要

平成26年8月に、福知山市街地を中心に局地的・集中的・甚大な降雨があり、福知山観測所において観測以来最大となる2日間で総降水量335mmを記録し、市内を流れる由良川支川の弘法川及び法川流域において、約3,300戸（床上：1,586戸、床下1,721戸）の浸水被害をもたらした。



福知山市街の浸水被害状況

これを受けて、平成26年8月29日に「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」を立ち上げ、同年12月に国土交通省、京都府、福知山市が連携し、浸水被害軽減に向けた概ね5か年の総合的な治水計画を策定した。

本計画は、国が排水ポンプ27m³/sの増強、京都府が

弘法川、法川の改修、31万m³の調節池の整備及び11m³/sの排水ポンプの新設、福知山市が21万m³の調整池等の整備及び市街地において1万m³の地下水貯留施設の新設、下水ポンプ1m³/sの増強等となっている。



国、京都府、福知山市で連携した取組内容

3. 事業の成果

本事業は令和2年5月に概ね完成し、目標としている平成26年8月豪雨と同程度の降雨が発生した場合での床上浸水は概ね解消されることとなる。

幸いなことに、令和2年5月から令和5年6月現在まで大きな出水はないため、事業効果の検証については今後となるが、国、京都府、福知山市が連携し、総合的な内水対策を実施したことで、当地域の治水安全度は大きく向上したと考える。

4. おわりに

本事業は、国、京都府、福知山市が連携し、河川改修やポンプ施設のみの対策に限らず、下水道事業や調整池整備、既存農業用ため池の改修等を当該流域で行っており、全国で取組を進めている「流域治水」の先駆けとなる事業と言える。

今後も、激甚化する降雨に備え、ハード対策だけでなく、情報発信や避難のあり方等ソフト対策についても引き続き連携して取り組み、流域の安全・安心の確保に努めて参りたい。